

県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 平成31年1月8日発行（第9号）

ー不易と流行のバランスのとれた学校づくりを目指してー



【菅生紹 ヌハクチョウ】

「不易」と「流行」のバランスをとりながら、地に足のついた教育活動を推進されますことを期待しております。

本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

県西教育事務所長 栗原 恵子

【生涯学習班より】「第6回いばらきっ子郷土検定」県大会 【2月2日（土）県民文化センター大ホール】各市町の代表校～めざせ！優勝～

- ・古河市立古河第一中学校 ・結城市立結城中学校 ・下妻市立千代川中学校
- ・常総市立石下中学校 ・筑西市立明野中学校 ・坂東市立東中学校
- ・桜川市立桜川中学校 ・八千代町立東中学校 ・五霞町立五霞中学校 ・境町立境第二中学校

○「中学生のための教職セミナー」を開催 【12月8日（土）古河第三高等学校】

当日は、79名の中学生（教職に就きたいまたは教職に興味がある）が参加しました。パネルディスカッションでは、次の6名の皆様がパネラーとして参加し、教員を目指したきっかけや魅力について熱く語っていました。

- ・中島秋帆教諭（豊加美小） ・木村光希教諭（三和中）
- ・間宮宗孝教諭（古河中等） ・横田瞳教諭（境特別支援学校）
- ・海老沢友唯養護教諭（下館北中） ・溝井夢香養教諭（下大野小）

また、同日に下妻第一高等学校で開催されました「次世代を担う高校生に向けた教職セミナー」では、次の2名の方がパネラーとして参加し、高校生からの質問にも自分の体験を交えながら熱心に答えていました。

- ・片岡優介教諭（水海道小） ・五十嵐友馨教諭（結城東中）

○ 生徒の感想【アンケートより 一部抜粋】

- ・同じ夢をもっている人と意見を交わすことで、よい刺激になった。
- ・参加したことで、先生になりたい気持ちが強くなった。
- ・将来の夢は、中学校教師なので、今回のことを無駄にせず、今後の生活に生かしていきたい。



【パネルディスカッション】



【グループ（夢）トーク】

【総務課より】博物館紹介④ ～茨城県立歴史館に行こう！～<茨城県立歴史館 テーマ展Ⅲ>

収蔵品展「メノツケドコロー見えない部分をのぞいてみよう！ー」 2/9（土）～3/24（日）

ガラスケースに並んだ資料は、普通こちらに「正面」を向けています。

しかし、博物館での調査・研究では、資料をいろいろな角度から見つめ、材質や細かな書き付けなどにも注目します。本展では、ふだん目にするものの少ない資料のウラ側をお見せします。

【展示解説も行います！】

2/17（日）、3/2（土）、3/24（日）各日10：30～、13：30～ ※要入館券

○ 料金：一般150（120）円 大学生80（60）円 満70歳以上70（60）円
高校生以下 無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金



火消半纏（当館蔵）

【生徒指導班より】 児童生徒のつぶやきを受けて ～教師の言動を振り返ろう～

冬休みが終わり、いよいよ3学期がスタートしました。「新年の抱負」を心に抱き、新たな気持ちで学校生活を送る児童生徒に対して、寄り添い、励ましながら丁寧に関わっていただきたいと思います。右の資料は、「教師のためソーシャルスキル」の“児童生徒のつぶやきを受けて”から抜粋しました。児童生徒に寄り添うことで、いろいろな言葉が拾えると思います。その言葉から普段の教師としての言動を振り返り、生徒指導の視点から、児童生徒とのよりよい信頼関係を構築できるよう心がけていきましょう。

教師のタイプ	教師の言動	児童生徒のつぶやき
◎ ろくに話を聞かずに、独りよがりな結論をすぐに言う決めつけ先生	□ 分かった、分かった。言いたいことはこうなんだらう。	◇ 「最後まで聞いてよ」「私の気持ちはそうじゃない。勝手に決めつけないで！もう相談なんかしないわ」

【教師のためのソーシャルスキル（H29年度版） 生徒指導の基礎・基本(11)より抜粋

桜川市立大國小学校では、目指す児童の姿を「進んで学習し、心豊かな、たくましい児童の育成」とし、日々の教育活動に取り組んでいます。飯島真理子教諭は、国語科の授業を中心に、「学び合いを生かしたアウトプット型学習」を展開し、児童たちが「なるほど」「わかった」「できた」と実感できるように「習得した知識・概念・技能を活用する力」の育成を目指し、指導に当たっています。

【一手間一工夫のポイント】

～～説明的な文章における確かな読みの力を育成する指導を目指して～～

① 身に付けたい力を明確にした授業実践

教師がその単元で「身に付けたい力」を明確にし、日々の授業を行うことが「確かな読みの力」につながると考える。指導事項や系統表の確認をし、その力を付けるために効果的な言語活動を設定している。

また、(ウォーミングアップタイム)→課題確認→自力解決→交流→まとめ(パワーアップタイム)→振り返りという基本的な授業スタイル「大國スタイル」を全職員で構築し、ぶれない授業を意識しながら日々授業実践している。

② ウォーミングアップタイム

「読みの力」の基礎となる語彙力向上プログラムを実践するために、授業の始めに3～5分の「ウォーミングアップタイム」を設定している。「〇〇しりとり」や「言葉集め」「辞書引き対決」などのメニューで、語彙を豊かにする活動を取り入れている。授業を元気にスタートする効果もあり、児童が楽しみにしている時間である。

③ 「自分で」「ペアで」「グループで」「みんなで」交流タイム

一人一人の読みを深めるために交流タイムを設定している。交流タイムでは、まず、自分の考えをしっかりと持ち、互いの考えを伝え合うのか、疑問を互いに解決していくのかなど目的を明確にしている。

さらに、「交流の視点」を示したり、「交流チェックカード」などを活用したりし、意見を1つにまとめるのか、たくさん出し合うのか意識できるようにしている。交流を通して、「そうなんだ」「わかった、できた」など自分の考えが広がったり、深まったりしている児童が増えている。

④ 「習得」から「活用」へ、パワーアップタイムの設定

授業の後半にその時間で習得した力を活用する時間として、「パワーアップタイム」を設定している。教材文でどのように読み進めていけばいいのか、方法を習得する。その習得した力を使って、図書資料から抜粋した文章の要点をまとめることにチャレンジする時間、読んだことを自分の言葉で再構築する時間、友達に説明する時間に充てている。自分で読み進めてきたことを基に友達と交流して自分の考えを深める。さらに、再度キーワードなどを使って書き換える。そのことで、より「読みの深まり」が期待できる。グッドモデルや「書き方」を参考にしながら、少しずつ自分の力となっている。

《ウォーミングアップタイム》



辞書引き対決中。グループ対抗「イのつく漢字」集め、カタカナで書く言葉や〇〇の付く言葉集めなどその日によってメニューが変わります。

《交流タイム》



グループでの交流をしています。グループでまとめた要点を可視化し、全体交流に備えています。

《パワーアップタイム》



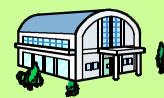
図書資料の抜粋から、要点まとめにチャレンジします。どの昆虫についての文章にチャレンジするか選んでいるところです。

【飯島教諭から】

本校の課題であった「確かな読みの力」を育成するために、授業スタイルの構築、語彙力向上のための「ウォーミングアップタイム」、習得から活用を目指す「パワーアップタイム」、そして教師の授業に対する意識改革を中心に取り組んでいます。これからも、この国語科を中心に、交流タイムの充実、語彙力向上に向けての取り組みなど、実践を積み重ねていきたいと思えます。また、本校の現在の課題である「対話的で深い学び」を目指して、職員同士で話し合いながら、研修を積んでいきたいと思えます。

【人事課より】【学期始めにおける学校施設等の再度の点検を！】

- ① 窓、扉、ドア等の破損や鍵の状態の再確認
※体育館、プール、物置小屋や動物小屋等の校舎外施設についても同様に
- ② 校務用パソコン、個人情報関係書類(家庭関係調査票等)の適正な管理



【年度末に向けて適正な会計処理を！】

- ① チェック体制の強化
・管理職による定期的な検査及び保護者等の外部関係者による監査の実施
- ② 特に部活動の金銭管理の適正化
・物品納入業者への支払いが遅れないよう適正に処理(「支払遅延防止法」に準拠)
・特に部活動における金銭の取扱いについて
※会計事務の保護者会への速やかな移行

